

# UNDER THE LID

<大屋根の下で>



## コンサートピアノテクニシャンの技とアート

すべてのピアノ技術者が待っていた！  
コンサートピアノ調整への豊かな指南！

豊かだが  
苦勞も多い  
この分野で働く  
また  
この分野をめざす、  
すべての人へ

著者 スティーブン・ブラディ

世界の一流アーティスト達が  
絶大な信頼を寄せる  
トップコンサート調律師

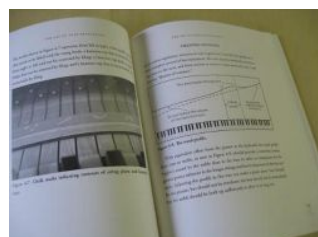
欧米に於いて 5000 回近く、コンサート、リサイタルのピアノ調律・調整を行なってきた。

PTG (北米ピアノ技術者協会) では長年指導者として活躍、「PTG ジャーナル」の編集委員である。また、「ピアノ技術者のための現場対応ガイド」の著者としても知られる。

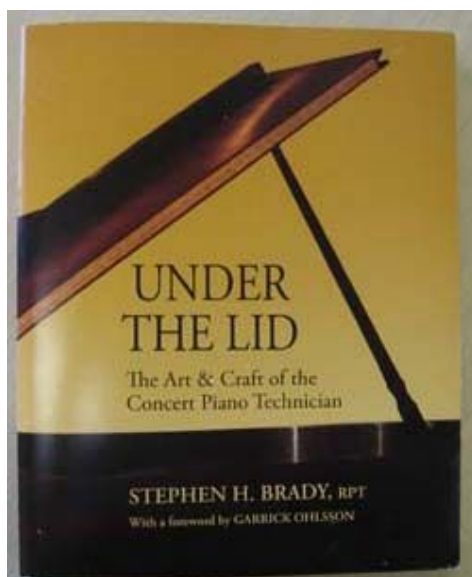
アメリカ・シアトル在住

- ◇ コン서트ピアニストのためにすべき作業
- ◇ コン서트前のチェックリスト
- ◇ 調律、整調、整音の具体的なヒント
- ◇ 求められる安定性とスピードの両立
- ◇ 整調の全体的な概要と設定
- ◇ 様々なハンマーヘッドに対応する整音技術
- ◇ 共に仕事をしたアーティストとの逸話.....等々

グランドピアノの位置について



トーンをつくる



読みやすい英語と図解が  
ゆったりと  
レイアウトされています。  
内容はたっぷり  
厚さが22mm程もあります。

ⓧ 通常コンサート調律の指導をすることはほぼ不可能ですが、スティーブン・ブラディは「Under the Lid」で、完璧で広い範囲の導きを提供しています。この本には、木材と金属素材、その機能と相互作用から芸術家と楽器の融合に必要な音楽的、音響学的、精神的な面にいたるまですべての深い理解と知識が網羅されています。  
<序文より、ギャリック・オールソン/ピアニスト>

ⓧ コン서트調律師は、時に「陰のアーティスト」と呼ばれ、紙一枚の出来事が演奏に多大な影響をもたらす世界に生きている。すべての鍵盤が正しく響き、調律が完璧で音質は正確であることが求められる。その上多くの場合、これらの緻密な作業は厳しい時間との戦いの中で行なわれる。これはコンサート調律のための特殊な技術的・芸術的方法を扱った初めての本である。技術とピアニストとの共同作業のポイントについて詳しく具体的なアドバイスがなされている。また、その文才を活かし、技術者やアーティストの横顔なども収めている。  
<本書・扉案内文より>

ⓧ 著者/スティーブン・ブラディが共に仕事をしたアーティスト達  
マレイ・ペライア、アルフレッド・ブレンデル、アンドラーシュ・シフ、ギャリック・オールソン、クラウディオ・アラウ、アンドレ・ワッツ、ラン・ラン、エフゲニー・キーシン 他多数